

令和7年3月13日



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター関西育種場

さんごうちょう へんじょういん
三郷町最古の桜「遍照院シダレザクラ」

の後継樹が里帰り

りんぼく
一 林木遺伝子銀行 110 番による巨樹・名木等のクローン増殖の取組一

ポイント

三郷町唯一の町指定天然記念物「遍照院シダレザクラ」（奈良県生駒郡三郷町）の後継樹の苗木が、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 一関西育種場から里帰りします。

概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター関西育種場（岡山県勝田郡勝央町）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業では、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を行うとともに、事業の一環として、所有者等の要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。

今回は、奈良県の三郷町長から増殖の要請を受けた「遍照院シダレザクラ」（サクラ（エドヒガン系統））の後継樹として、つぎ木によって増殖し育てた苗木が里帰りします。

- 里帰り日時 令和7年3月25日（火曜日） 13時30分
- 場所 奈良県生駒郡三郷町勢野西3丁目3番5号 遍照院
- 里帰りする苗木本数 つぎ木増殖苗 2本

問い合わせ先

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター関西育種場

事業責任者：遺伝資源管理課 課長	かしわぎ まなぶ 柏木 学
担当者：遺伝資源管理課 収集管理係長	ちの れい 千野 怜
広報担当者：連絡調整課 課長	ふじた あきひろ 藤田 彰宏
連絡調整課 連絡調整係長	はやし かつひろ 林 勝洋

Tel : 0868-38-5138 Fax : 0868-38-5139

本資料は、奈良県文化記者クラブ、三郷町記者クラブに配布しています。

背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。一方で、樹木の中には衰弱しているものもあり、後継樹を増殖することが求められていました。

このため、林木育種センターでは、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱している樹木の後継樹を増殖し、里帰りを行う取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに、全国から 333 件の要請があり、255 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました（令和 5 年度末）。後継樹は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

内容

「遍照院シダレザクラ」は、奈良県生駒郡三郷町唯一の町指定天然記念物で、真言宗室生寺派寺院である遍照院の境内に所在し、樹高が約 13m、幹周り約 2.2m、枝張りが約 20 mあります。三郷町の桜は万葉集の和歌でも詠まれ、このシダレザクラはその町の現存最古の桜です。現在の推定樹齢は 290 年にもなり、大和平野を一望する高台にある地域のシンボリック存在です。

このシダレザクラは 3 月下旬頃にソメイヨシノに先立ち、淡紅白色の花を開きますが、ここ 10 年程、花付きが弱くなってきたことから、三郷町長から関西育種場に、「遍照院シダレザクラ」の後継樹の増殖申請がありました。

令和 4 年 1 月に関西育種場職員が現地では採取し、その枝をもとに、同年 3 月につぎ木をした結果、増殖に成功しました。その後苗木は順調に生育し、屋外に植栽しても生育できる見込みとなったことから、このうち 2 本が、この度、令和 7 年 3 月 25 日に奈良県三郷町へ里帰りすることになりました。苗木は後日、遍照院境内に 1 本、奈良県と大阪府の府県境にある三室山遊歩道に 1 本植栽予定です。里帰りされると同時に、貴重な遺伝資源として関西育種場内で保存されます。

図、表、写真等



「遍照院シダレザクラ」



里帰りする後継樹